

うじたわら

No. 115

2023.5.1

議会だより



きょうと明日を結んでつなく笑顔・活気はくくみ予算可決……P2～P9

町政ズバリ聞く（一般質問） P10～P14
ハートウォーミング自治体議会 Web サミットを開催 P16
インタビュー（林 恵子さん） P17

＝スプリングフェス＝
茶ッピー未来基金がプロデュース
フェスでのレレレ・レッツダンス

第一回 定例会

ひとづくり×みちづくり=住民 きょうと明日を結んでつなぐ

自身が誇りを持って暮らせるまちへ期待 笑顔・活気はぐくみ予算 **可決**

令和5年第1回定例会は、3月3日から29日まで開催した。予算関係10件（補正4件、当初6件）、条例関係7件、一般議案3件、人事関係1件について提案があり、原案通り可決・同意した。議会提出の条例1件、議員提出の意見書1件についても可決した。一般質問は9人の議員がたち、活発な議論を展開した。

第5次まちづくり総合計画及び第2期地域創生総合戦略に基づき、4つのまちづくり目標、「健やかに安心して暮らせるまち」「便利で快適に過ごせるまち」「活気にあふれる交流のまち」「子育てと学びを応援するまち」をめざす中で、まちの基礎整備、子育て支援施策などの重点施策を中心とした令和5年度当初予算案を審査した。

健やかに安心して暮らせるまち

地域防災対策事業費 1,466万円
高規格救急自動車更新事業費 4,288万円



便利で快適に過ごせるまち

宇治田原山手線整備事業費 11,169万円 他
公共交通利用推進事業費 405万円



活気にあふれる交流のまち

「ハートのまち」移住定住者応援事業費 190万円 他
お茶の京都観光まちづくり推進事業費 565万円



子育てと学びを応援するまち

未来挑戦隊チャレンジャー育成 PROJECT
ふるさと応援キャリア教育事業費 106万円 他
子育て支援医療費支給事業費 2,680万円



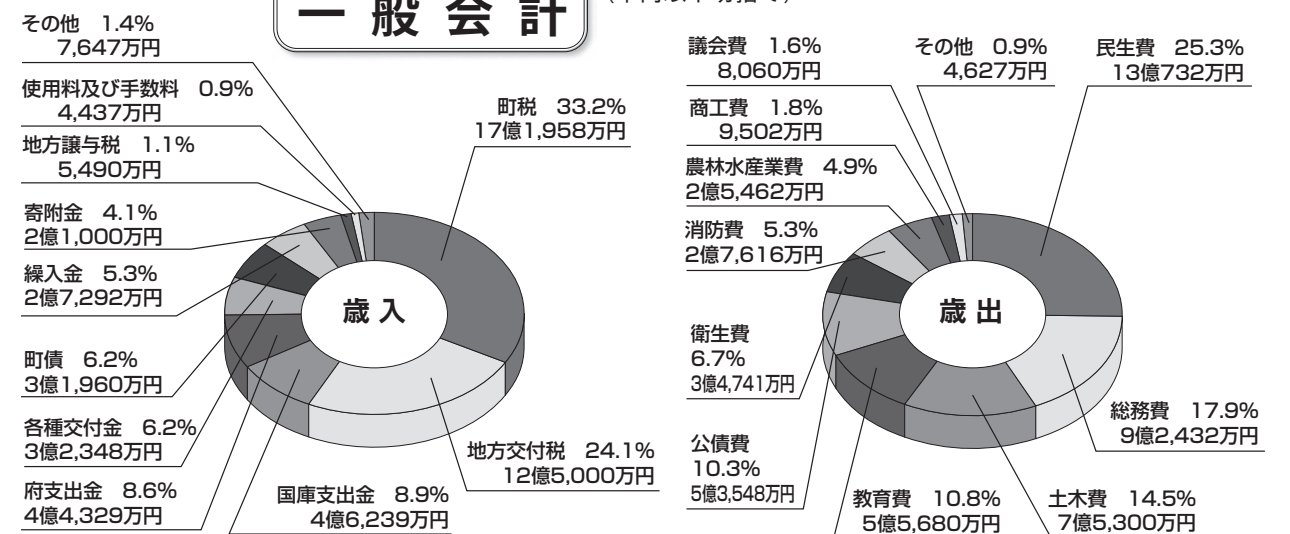
会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年比(%)
一般会計	51億7,700万円	0.2
国民健康保険特別会計	10億4,237万円	△4.4
後期高齢者医療特別会計	1億5,497万円	0.1
介護保険特別会計	8億2,908万円	4.7
水道事業会計	4億9,415万円	△2.8
下水道事業会計	9億6,544万円	6.5
総額	86億1,665万円	0.5

一般会計

(千円以下切捨て)



定例会

定例会

予算特別委員会

定例会

予算特別委員会は、3月10日に令和4年度補正予算を審査し、3月17日、20日、23日、24日の日程で、令和5年度当初予算を審査した。23日には1カ所の現地審査を行った。

当初予算

ここが聞きたい総括質疑

ふるさと納税 増額への周知は

（上野雅央委員）
ふるさと納税の寄附額増加に向け、住民や事業者に対し、使い道をよく周知して、魅力的な返礼品につなげては。



チャレンジする子どもたち（町HPより）

寄附を集めるだけでなく、未来挑戦隊チャレンジャー育成プロジェクトをはじめ、使い道にもこだわったまちづくりの視点を持った取り組みと情報発信により、一定認知いただいている。今後

も住民、事業者がまちづくりを「ジブンゴト」として捉えていただけるような発信などを行い、ま

妊娠8か月頃にアンケートと面談の案内を送付し、希望者に対する面談や電話など対応を行うスタッフ費用を新たに計上した。保健師などの顔の見える関係をこれからも守り続けていくとともに、新たな支援策と融合し、本町ならではの子育て支援施策を実施していく。

移住定住補助金の対象は

移住定住・就業支援事業費補助金が新規計上されているが、対象は東京23区限定で関西圏から

の移住は対象とならないのか。

東京23区と東京圏内の指定地域からの移住が対象であり、関西圏は対象外である。

高速バスの事業者は

短・中距離高速バス路線検討調査費について、広域バス路線は民間業者を募集するのか、第3セクターを考えているのか。

事業者は未定であるが、想定エリアに現在路線を持つ、京都京阪バ



お試し住宅

ちづくりで好循環を生んでいきたい。

物価高騰に直面する 住民生活への支援は

（今西利行委員）

コロナ禍での物価高騰に直面する住民負担の軽減を図る積極的な支援を、途切らせることなく

次年度も維持・充実すべきであり、町の独自対策も必要では。

令和4年度は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」により、事業者支援や生活者支援などの経済対策、独自支援策を実施してきた。本交付金の増額・強化の方針が示されたことから、今後は物価高騰に直面する生活者支援の検討を行うとともに、子育て支援についても対応したい。

株式会社との協議も並行して進める予定である。

小中一貫教育の取り組みは無駄では

小中一貫教育推進事業費について、施設一体型が延期され、数年先には人、時代、背景も変わることから、今の取り組みが無駄になるのでは。

小中一貫教育のハード面とその諸課題は施設一体型が前提である。協議は難しいが、教育面については、町内3小中学校が連携し、小中9年間を見通した教育を進める。この視点で、教職員が協議することにより、本町の育てたい子ども像を実現するための取り組みを継続して実施するものである。

もつと聞きたい個別審査

一般会計（議案第5号）

増収見込みの要因は

町税の増加見込みの具体的要因は。

法人町民税は、製造業を中心に業績が回復傾向にあること、固定資産税では、工場の増築分、償却資産の設備投資や機器更新が順調であったことが要因である。

寄附者とのつながりは

ふるさと納税について、寄附者とのつながりを生むための取り組み、来訪・体験型キャッシュレス商品券の検討・実施の具体的内容は。

現在実施している、お茶摘み、茶道教室等の体験型メニューは、関係



茶道教室（町HPより）

人口の増加と本町の良さを知っていただき、来訪強化を図るものである。キャッシュレス商品券は、電子マネーを使用した町内でのみ使用できる商品券的な取り組みであり、本町に来ていただき、消費していただく仕組みをさらに拡充していく。

高校生までの医療費支援制度の継続は

子育て支援医療費を高校生世代まで対象としたことから、予算増加分と制度継続の考えは。

子育て支援に新たなスタッフは

妊娠から出産、切れ目ない子育て支援に対し、新たなスタッフの確保予定や取り組みへの思いは。

反対討論

物価高騰対策は切れ目なく

コロナの影響や物価高騰もあり、大企業を中心に賃上げが発表されても、多くの中小企業で働く人たちの賃金は置き去りにされている。年金は下がる一方で、医療や介護の負担は増えるばかり。国の臨時交付金で実施してきた給食費の無償化、水道

山本精議員

料金の減免、農林業者・商工業者の物価高騰対策は、国の対策を待つことなく、町単費で延長するなど、切れ目なく実施し、地方自治体の本旨である、住民福祉の向上のための予算を、重点的に配分すべき。

賛成討論

まちの基盤整備や子育て支援の充実を

宇佐美まり議員

令和5年度一般会計予算は、第5次まちづくり総合計画および第2期地域創生総合戦略に基づき「健やかに安心して暮らせるまち」「便利で快適に過ごせるまち」「活気にあふれる交流のまち」「子育てと学びを応援するまち」の目標を掲げ、まちの基盤

整備や子育て支援の充実をめざすものである。本町の明るい未来を形成し、持続可能な行政基盤を構築するためにも、必要なことを見極め推進することが重要であり、これら各事業は高く評価できる。

反対討論

数年後以降の未来を考えると賛成できない

森山高広議員

状況の分析に問題があり、すべてに影響を与えている。日本の技術競争力や経済力が落ち、外国人労働者も日本を避け始め、財政や日銀もガタガタな状況では、今まで通りの考え方は通用しないが、すべてが今

まで通りである。例えば、少子化は危機的な状況だが、提案されている子育て支援策は、減少する可処分所得という根本的な問題を何も解決しない。逆に、将来さらに負担が増え、可処分所得が減少する。

定例会

国保会計 (議案第6号)

特定健診の予備月を11月に行う効果は

特定健康診査等実施事業費について、受診期間は7月から9月であり、予備月を今年度10月から11月に変更され、令和5年度も11月の予定とされているが、その方が効果があるのか。

新たな対象者のチェックを11月に行うことで、新規転入や国保加入のリストアップ期間が長くなるとともに、医療機関から受診期間をきちんと区切ってほしいとの要望もあり、はっきりとわかりやすい形での実施を、医療関係者と相談のうえ決定した。



検診車

後期高齢者医療会計 (議案第7号)

反対討論

国庫負担こそ増やすべき

今西利行議員

昨年10月からの窓口負担2割への引き上げで受診抑制が起きており、病状の悪化が懸念されるが、今度は医療保険料が引き上げられようとしている。国庫負担こそ増やすよう求めるべき。高齢者に負担増を押し付ける制度に反対する。

おり、カフェ男はふれあい福祉センターでの開催を考えている。

下水道事業会計 (議案第10号)

下水道増設は今必要か

処理場建設事業費は、令和4年度約6300万円、令和5年度1億3000万円となっている。これは宇治田原浄化センターの電気設備老朽化による増設なのか、処理能力を増やすためのろ過機増設なのか。

電気設備、水処理施設などは、効率的な運転のため、また過大投資とならないように、流入水量の増に応じ段階的に施設を増設する計画として

介護保険会計 (議案第8号)

カフェ男の開催場所は

新たに実施予定のカフェ男の開催場所は、

認知症カフェは通称、愛茶カフェとして既に町内6カ所で実施して

総務建設常任委員会

職員の定年等に関する条例の一部改正 (議案第11号)

職員の定年を段階的に引き上げるもの

役職定年制の導入にあたり、その役職で欠員の補充が困難である場合には、引き続き管理監督職を占めたまま勤務できるとあるが、給与月額は7割適用となるのか。

いわゆる特例任用においては、給与に関する措置の適用はない。

都市計画道路宇治田原山手線工事施行協定の一部変更 (議案第19号)

協定金額を変更するもの

工事の完成予定について、令和5年3月末がめどであったと思いが見込みは。

文教厚生常任委員会

国民健康保険条例の一部改正 (議案第16号)

出産育児一時金の総額を引き上げるもの

出産育児一時金については、直接出産した方に支払われるのか。また、昔のように家で出産された場合の取り扱い

病院で出産された場合は、病院に直接支払うこととなり、出産した方が病院の窓口で支払う費用が軽減される。家で出産された場合は、申請により本人に支払うことになる。

町総合文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 (議案第17号)

町総合文化センターさざんかホールの施設使用料の改定

運営経費の高騰による施設使用料の改定は仕方ないが、他の施設へ波及することはないのか。

施設使用料については、第6次行政改革実施計画に基づき継続的な見直しを行うこととしている。教育委員会所管の施設使用料については、現在のところ本改正以外は考えていない。

令和4年度補正予算

一般会計 (議案第1号)

地方交付税の追加要因は

歳入の地方交付税について、6128万5000円の追加要因は。

普通交付税の算定にあたり、基準財政需要額の費目に新たに臨時経済対策費が創設され、約3000万円増加したこ



宇治田原浄化センター (現地審査)

人事案件

人権擁護委員の推薦同意



木谷茂和氏

(湯屋谷)

任期 令和5年7月1日～令和8年6月30日



山手線の早期完成を願う懸垂幕

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
発議	第1号	宇治田原町議会の個人情報の保護に関する条例を制定するについて (議会の保有する個人情報の取扱いを定めるもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	第1号	GIGAスクール構想による一人1台の端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のための恒常的な国の支援策の創設に関する意見書(案)について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	第21号	人権擁護委員候補者の推薦について (木谷茂和氏の推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度当初予算	議案第5号	一般会計予算 【51億7,700万円 前年対比0.2%増】	✓	✓	可決	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○
	議案第6号	国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 【10億4,237万4千円 前年対比4.4%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	後期高齢者医療特別会計予算 【1億5,497万8千円 前年対比0.1%増】		✓	可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第8号	介護保険特別会計予算 【8億2,908万1千円 前年対比4.7%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	水道事業会計予算 【4億9,415万8千円 前年対比2.8%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定	議案第12号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて (法律改正に伴う関係条例の一部改正など)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	宇治田原町個人情報保護法施行条例を制定するについて (法律改正に伴う条例制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第11号	宇治田原町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (職員の定年を60歳から65歳まで段階的に引き上げるもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	宇治田原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (会計年度任用職員の給料表改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	宇治田原町情報公開・個人情報保護審査会条例及び宇治田原町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第16号	宇治田原町国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定するについて (出産一時金を40万8千円から48万8千円に引き上げるもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	宇治田原町総合文化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (さざんかホールの施設使用料の改定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	町道路線の認定及び廃止について (大字南地内の認定及び廃止)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第19号	都市計画道路宇治田原山手線工事施行協定の一部変更について (協定金額の増額変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	和解及び損害賠償の額の決定について (水道管破断による車両損害事故に係るもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

GIGAスクール構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のための恒常的な国の支援策の創設に関する意見書《要旨》

国は、コロナ禍における遠隔授業等の実施を早期に可能にするため、令和5年度までとされていた「GIGAスクール構想」に基づく整備計画を前倒しし、全国の地方自治体への強力な財政支援を行い、令和3年度までに児童生徒一人1台の端末(タブレット端末)の整備は、全国的にほぼ完了した。

今後、情報端末を子どもたち一人ひとりが常時活用できる環境を基盤として教育を推進することは、国の基幹的な教育政策となったと言っても過言ではない。それは、全ての児童生徒が情報端末を使って学ぶ環境が維持されてこそ実現する。

しかしながら、地方自治体の財政力は、総じて脆弱であり、国の強力な財政支援がなければ、情報端末や通信環境等の整備・維持を、将来にわたって行っていくことは、大変困難であり、本町にとっても同様である。

今後の更なる情報教育環境の実現に向け、GIGAスクール構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、その適

切な活用に係る環境を整えるため、下記のとおり、恒常的な地方自治体への支援制度を国において整備されるよう要望する。

- 一人1台端末(タブレット端末)の整備・更新及び回線速度改善等に係る恒常的な国庫補助措置を講じること。
- 学習支援ソフトウェア等の購入経費に係る支援を図ること。
- 通信費に対する財政支援を講じること。
- ICT推進コーディネーター、ICT教育活動支援員等の配置及び充実への支援を図ること。
- デジタル教科書無償化及びその活用に対する支援を図ること。

令和5年3月29日 宇治田原町議会

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから

議決のあらましと表決結果(補正予算関連) [○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
令和4年度補正予算	議案第1号	一般会計補正予算(第5号) (出産・子育て応援事業費等の追加、各種事業の決算見込みなど) 【9,665万8千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) (保険給付費の決算見込みなど) 【136万5千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	介護保険特別会計補正予算(第3号) (保険給付費の決算見込みなど) 【保険2,382万1千円追加 サービス34万3千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	水道事業会計補正予算(第3号) (各種事業の決算見込みなど) 【収益的収入379万7千円追加 支出93万1千円追加】 【資本的収入1,300万円減額 支出1,300万円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

定例会

施政方針「育みと学び」とは

子どもに夢と希望のある町づくり



えの きのりみち
榎本憲法議員

問 令和5年度の施政方針に「育みと学び」とあるが具体的には。

答 (町長)

親子でできる外遊びからプログラミングまで、遊びの視点を交えた心と体づくりや学びを深めるユニークなメニューを取り揃え、子どもたちの探求心と可能性の芽を育みながら、一人ひとりの個性や能力を伸ばしていく。

このプロジェクトに共通する思いは、将来の予測が難しい時代にあっても、たくましくしなやかに生き抜く力を身につけてもらうことである。この

町ならではの取り組みを通じて、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらうことである。

子どもの変化は未来を変えるという思いを胸に子育てに選ばれるまちとしての評価と共感を得ながら、新たな人を呼び込む好循環を生み出すことをめざしていく。



元気いっぱいの「未来挑戦隊」

業務継続計画で文化センターは

代替施設と位置付ける必要はない



やまもとただし
山本精議員

問 業務継続計画で、役場庁舎が被災し、使用できなくなった場合に総合文化センターを代替施設として利用する

とあるが。

答 (総務課長) 新庁舎が完成し、耐震性や災害対応力が大きく強化された。これまでのように代替施設として位置付ける必要はないと考える。

問 業務継続計画は、役場庁舎が被災し、庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定を定めておくものである。現庁舎においては、利用できなく

なるような災害が起きない、文化センターを代替施設として位置付ける必要はないとのことだが、役場機能が喪失した場合を想定した訓練が必要では。

答 (総務課長)

庁舎移転により、災害時などでも業務継続ができるものと認識している。しかし、田原川および国道307号を挟んで新庁舎の反対側に総合文化センターが位置していることから、有事の際に庁舎の補完機能は一定可能とも考える。現時点においてそのような訓練は予定していない。



総合文化センター

一般質問

3月8日
～9日

町政を問う

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

※印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。



質問者	質問事項
1 宇佐美まり (P10)	1. 地域防災 2. 地域の生活・環境 ※
2 榎本憲法 (P11)	1. 施政方針 2. コロナ感染症5類引き下げ ※ 3. 学校校舎の維持修繕計画 ※
3 山本 精 (P11)	1. 防災
4 山内実貴子 (P12)	1. 道路の安全対策 2. おいしい給食の提供と普及

質問者	質問事項
5 今西利行 (P12)	1. 地域公共交通 2. 小中一貫教育 ※
6 上野雅央 (P13)	1. 都市計画道路宇治田原山手線の沿線整備 2. お茶のふるさと宇治田原町のPR ※
7 森山高広 (P13)	1. 町財政の予測の考え方
8 原田周一 (P14)	1. まちづくり
9 藤本英樹 (P14)	1. 防災活動 2. 地場産業の活性化 ※

ハザードマップの活用は

分かりやすい情報提供に努めたい



うさきみ
宇佐美まり議員

問 ハザードマップは、災害時に対応できるよう、自主防災会と連携し、住民の防災意識の啓発や災害時の避難場所、避難経路の周知に役立つような取り組みが必要では。

答 (都市整備政策監)

公民館・自治会館への掲示や関係住民への配布や町HPで公表する。さらに、町職員の防災研修、消防団の防災研修・訓練、地域住民と関係行政機関での防災パトロールなどを行う予定をしている。

問 防災マップとため池ハザードマップが別々に存在すると、緊急時に避難経路の確認に混乱する恐れがある。防災マップとため池ハザードマップを、一枚の防災マップに集約できないか。

答 (町長)

防災マップの改定に当たっては、順次、ため池ハザードマップの情報が防災マップでも確認できるよう工夫するなど、分かりやすい情報提供に努めたい。



ため池ハザードマップ

山手線沿線整備の概要は

流通産業などの誘致を進めている



うえの まさお
上野雅央議員

問 都市計画道路宇治田原山手線沿いに予定されている、流通拠点とした大規模施設の建設概要は。

答 (町長)

現在、地区計画の策定を進めており、今後、2地区において、開発申請などの法手続きによって、着手時期などが明らかになる。新名神開通後、数年で事業開始される見込みである。南地区については、現在、流通産業などの誘致を進めている段階で、今後とも地域の賑わいや活力創出に向け力を注いでいく。

問 事業開始後の税収増や雇用創出は。

答 (町長)

現段階で一定の想定の基であるが、町の純増収は年間数千万円程度となる見込みである。雇用については、IT化や機械化の進展、営業時間にもよるが、これまでの同規模の物流施設の実績から、通常の8時間営業として試算すると2地区の合計で数百名程度となる見込みである。交代勤務や営業時間によっては、さらに相当数の雇用が見込まれる。



物流施設が予定されている南地域

人口減には抜本的改革が必要では

指摘は重く受け止める



もりやまたかひろ
森山高広議員

問 2022年の日本の出生数が77万人台と減亡の危機に面している。一番の原因は可処分所得の減少である。大人が勉強しないので平均給与は低く、転職市場の機能不全で給与も上がらないが、国は改善する気もない。2022年度の「国民負担率」は47.5%と非常に高く、もう負担につながるバラマキ施策は無理だが、さらに進めている。

この様な中で、本町ができることは、固定観念や常識を捨て、お年寄りにも我慢をもらい、各種サービスやイベントは最低限にとどめ、圧倒的な子

育て支援と大人の勉強を支援する事しかないのでは。

答 (総務担当理事)

可処分所得の減少と少子化は密接に関わっており、家計の安心感の醸成が少子化対策に不可欠と認識している。

一方、そうした対策は国を挙げて取り組む課題であり、子育てに優しい環境を形成することが地方の使命と捉えている。人口ビジョンの指摘は重く受け止めるが、「できるかできないか」ではなく、「やるかやらないか」だと考える。

宇治田原町	
人口	8,855人
男性	4,465人
女性	4,390人
世帯数	3,818世帯
[2023年4月1日現在]	

本町の人口(町HPより)

道路上の標識や標示の点検は

全町的な点検を実施していきたい



やまうち みきこ
山内実貴子議員

問 安全に通行するための注意啓発や、防災減災の観点から道路上の標識や標示などを、新年度の機会に、適正に表示されているか点検をとお考えるが。

答 (町長)

新年度を迎えるこの時期に交通安全や道路管理などの関係部局が連携し、改めて住民目線に立ったきめ細やかな全町的な点検を実施していきたい。

問 子ども達が通行する、学校周辺の横断歩道をカラー舗装にしては。

答 (総務担当理事)

先進地での横断歩道のカラー化の状

況や有効性などの調査研究を行いたい。

おいしい給食の提供は

問 本町の学校給食は、給食甲子園全国第2位の実績を持つ。この給食を、特色ある取り組みとして、町のPRも含め、今春開園予定の都市公園や、庁舎多目的室を活用し提供しては。

答 (教育長)

本町を内外に広く知っていただく契機になる。実現には何が 필요한のか、調査研究してみたい。



学校周辺に整備された横断歩道(カラー舗装・他市)

交通弱者は無料に

公共交通の維持継続が何より重要



いまいとしげき
今西利行議員

問 町営バスについて、多くの住民から「交通弱者は無料に」との意見を聞いている。より支援が必要な方については、福祉の視点から協議するとのことだったが。

答 (建設事業担当理事)

福祉部門との協議のほか、地域公共交通活性化協議会において、公共交通を必要とされている方へ、適切なサービスが提供できているとの意見をいただいている。

問 町営バスの利用者は減少した。「せ

めて100円だったら」「利用を控えるようになった」という声を聞く。他市町と比較しても片道300円は高い。運賃はできるだけ低く設定して利用者を増やすことが、お出かけ支援や公共交通の維持・継続につながるのでは。

答 (建設事業担当理事)

路線バスが廃止された交通空白地を埋めるために町の公共交通をつくった。住民の移動手段である公共交通をみんなで支え、維持継続することが何より重要である。



町民の足 チャッピー号

一般質問

一般質問

総務建設常任委員会

1月24日、各課の第4四半期の事業執行状況、報告事項6件があった。

〈事業執行状況〉

総務課

女性消防団員の基礎教育講習会とは

問 4月に行われる基礎教育講習会の内容は。

答 ポンプの取り扱いなどの技術講習を行う。

まちづくり推進課

新市街地都市公園の利用時期は

問 舗装工事と植栽工事を終え、いつから住民は利用可能なのか。

答 芝生の育成および定着を図るためには、夏の時期を越えたあたりが妥当であり、時期を見て住民に周知したい。



完成間近の都市公園

〈報告事項〉

企画財政課

・入札監視等委員会（令和4年度第2回）の開催概要
・宇治田原町個人情報保護法施行条例（案）の概要

問 これまでの制度を後退させることはないのか。

答 開示決定の期限などでは、今まで通り15日以内というように後退させるようなことはない。

税住民課

・令和4年度町税徴収実績（第3四半期）
・令和4年度人口動態集計（第3四半期）

まちづくり推進課

・第5回宇治田原町地域公共交通活性化協議会の開催結果
・令和4年度第2回宇治田原町都市計画審議会の開催結果

文教厚生常任委員会

1月23日、各課の第4四半期の事業執行状況、報告事項2件があった。

〈事業執行状況〉

健康対策課

フレイル予防出前講座への出席者数は

問 高齢者介護予防出前講座を緑苑坂にて実施とあるが、出席者数は。

答 25名ほどの出席があった。



緑苑坂でのフレイル予防出前講座

子育て支援課

コロナ予防接種希望幼児者への対応は

問 6か月～4歳までの接種希望者数と対応は。

答 7名の希望があり、八幡の小児科にて実施予定である。

〈報告事項〉

学校教育課

・中学校部活動地域移行

アンケート結果と地域の協力は

問 部活動への教職員へのアンケート調査結果は。

答 約7割の先生が負担を感じ、6割弱の方が地域移行を希望している。

問 地域移行に伴い地域の方々の協力体制は。

答 現在携わっておられる方においては、おおむね良好な回答をいただいている。

社会教育課

・総合文化センター（さざんかホール）使用料の改定

ベストを尽くした結果なのか

問 業者委託している内容を職員が代行できないのか。

答 過去に試行したが技術的な面で難航した。専門業者に委託していくと協議された経緯がある。

第5次以後のまちづくりは

SDGsの理念を取り入れる

問 第5次総合計画もあと2年の令和7年で10年間の基本構想・計画が終了する。町長就任10年が経過したが、自己評価・総括は。

答（町長）

未来に希望と責任が持てるまちづくりに心血を注いできた。役場新庁舎や都市計画道路宇治田原山手線の推進や子育てと学びでは、病児・病後児保育の導入や学童保育施設の整備など種々の取り組みに注力してきた。

問 第6次総合計画では、SDGsの理念を落とし込みながら、持続可能なまちづくりを表明しているが。

答（町長）

SDGsは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた開発目標で、尊重すべき理念である。次期計画はこうした理念を取り入れながら2か年かけて取り組む。「郷土を愛し、誇りをもって活力あるまちづくりを進める」姿勢が変わる事はない。



はらだしゅういち 原田周一議員



変容する本町の道路状況

消防団員確保に向けた取り組みは

消防団と連携し取り組んで行く

問 平素より自身の仕事に従事し、消防団活動に従事いただいている団員に敬意を表するところであるが、新入団員減少に伴い、団員確保が全国的な課題である。団員確保に向けた取り組みは。

答（総務課長）

町と消防団が連携を図り、広報紙やHPの活用、「かわらばん」の発行、応援店事業、学生消防団認証制度や、二十歳のつどい時の個別勧誘など、新規団員につながる取り組みを実施している。

問 昨年12月に新たに7名の女性消防団員が誕生した。以前より提言してきている女性防災士の育成について、女性消防団員にも資格取得をめざしてもらいたい。資格取得に向けた取り組みは。

答（総務課長）

南海トラフ地震などの自然災害に備えるため、防災士育成は急務である。受講料なども全額支援しており、女性消防団員の方々にも資格取得に向けて取り組んでいく。



ふじもとひであき 藤本英樹議員



消防団応援店ステッカー

女性消防団班長

はやし けい こ
林 恵子 さん

女性消防団員で、現在班長をされている林恵子さんにインタビューしました。



女性消防団（任命式）

Q. 簡単に自己紹介を

A. 東日本大震災の被災地支援のために立ち上げたボランティアサークル『Mama's Action! (ママズアクション!)』の活動のご縁で、町の社会教育委員や町内の子育てに関わる委員をさせていただいています。

Q. 消防団に入団されたきっかけは

A. ボランティア活動を通して、私たちの身近なところでも災害がいつ起こってもおかしくはないという思いを抱きながら活動してきました。その思いから、知識や技能を習得し、周りにいる大切な人々が安心安全に暮らしていける一助になればという思いで入団を決意しました。

Q. 入団後の感想と普段の活動は

A. 初の女性消防団員班長という責任のあるお役目を受け、身の引き締まる思いです。幸い様々な経験を持つ心強い団員ばかりですので、それぞれの持てる力を合わせて、自分たちが知識や技能を習得することにとどまらず、それをできる限り多くの方々に伝えていける活動をめざします。

東日本大震災の語りべの方の講演からも、「女性の生活力を活かすことが避難所運営の要!」と激励をいただき、より広くともに活動いただける方を増やしていきたいです。

Q. 宇治田原町への想いは

A. 宇治田原町に越してきてから15年、私の故郷は島根県ですが、ここで生まれ育った子ども達にとってはかけがえのない故郷です。子ども達の故郷であるこの町を守り、より住み良くしていくために何ができるか、常に思い描いています。



出初式にて

第2回ハートウォーミング自治体議会 Webサミットを開催

本町議会が全国の「ハート」をキーワードにしている自治体議会に呼びかけ、ハートウォーミング（心が温まる）自治体運営における議会の役割をテーマとし、今後のハートを標榜する自治体連携について、オンライン形式によるサミットを開催した。

第2回ハートウォーミング自治体議会 Web サミットは、2023年2月14日に、Web 会議ツール ZOOMを使用したオンライン形式にて開催した。去年参加の大山崎町と兵庫県の神河町に加え、今回は兵庫県の市川町と沖縄県の南城市が加わり、計5市町が「ハートウォーミング」な施策のプレゼンを行った。

今後の災害時応援協定の模索や行政への働きかけなどについても議論した。



Web 会議中の委員

特産品やハートウォーミングな施策

南城市（沖縄）

8月10日を「市民平和の日」と定めている。特産品の「黒糖塩まんじゅう」と「パタフライピーシロップ」を紹介され、「は・あ・と・の・ま・ち」をコンセプトに、まちの未来像の実現のため、ハートの多彩な施策の具体化が進行中であることを説明された。

市川町（兵庫）

国産アイアンクラブ発祥の地で知られている。特産品の「こだわりクッキー」を紹介され、花のひまわりの種子とメッセージを添えた風船を飛ばす「夢風船プロジェクト」など特色のある施策を説明された。

神河町（兵庫）

特産品の「バームクーヘン」と「ゆずホット」を紹介され、観光プロモーションや健康寿命を延ばす「かみかわハート体操」に取り組んでいる事を説明された。

大山崎町（京都）

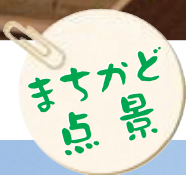
特産品の「コーヒー」を紹介され、京都府と連携して次世代を担う起業家や企業の人材育成を行うイノベーション施設「アート&テクノロジー・ヴィレッジ」の整備を進めていることを説明された。

宇治田原町

特産品として「かぶせ茶」と「古老柿」を紹介し、ふるさと納税の寄附を活用した子どもたちの育成施策について説明した。



特産品の例



ことぶき大学終了式での混声合唱団「縁」(男性団員募集中)



旧役場から移植された黒松と銘板



盛況なおもちゃ病院

次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月8日 木 開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします。

編集後記

新緑の5月、美しい緑につつまれて、すごしやすく清々しい季節となりました。そして新茶のシーズン到来です。おいしいお茶をいただきつつ、今後も町議会の様子をわかりやすくお伝えし、住民の皆さまに読んでいただける紙面づくりに励んでまいります。 広報編集副委員長 上野

